



トラックの
製造・販売

いすゞ自動車株式会社

本社／横浜市西区高島1-2-5 TEL.045-299-9111 <https://www.isuzu.co.jp>
創業／1916(大正5)年 従業員数／8,804名(2025年3月現在)



もっと、くわしく
見てみよう!

? 日本だけでなく海外にもたくさん 車を売っているって本当?



本当です。
海外販売比率は約69%です

私たちはトラックを中心としたはたらく車を世界各地に届け、人々の暮らしや物流の仕事を支えています。日本や世界各国に対応する大切な役割を果たすのが横浜本社です。国ごとのルールや安全性、環境への配慮などさまざまなことを考えながら、より求められる車を提供しています。



本社

? どんな国や地域に 届けているの?



全世界に展開しています。
はたらく車は活躍する場所を選びません。

ヨーロッパ
42か所

アジア
23か所

中東
13か所

アフリカ
37か所

オセアニア
15か所

北米
3か所

中南米
40か所



世界150以上の国と地域で販売
年間52万台以上販売 ※2025年現在

いろいろなのはたらく車が、
人々の生活を支えています

ミキサー車



ゴミ収集車



消防車



バス



? 海外ではどのように 販売しているの?



**日本と海外でたくさんの人が
関わり合いながら進めています。**

① 現地調査



販売を計画している国で、どんな車が求められているのかを下調べします。現地を訪れることもあります。

② 企画



①をもとに、社内外の多くの関係者と討議を重ねます。理想と現実を行き来しながら少しずつ仕様を決めていきます。

③ 製造

②で決定した仕様の車両や部品を船で海外へ出荷します。

④ 販売

現地の協力会社に車の魅力を共有し、新しい車をより多くの人に届けられるように営業活動します。



海外の仕事の面白いポイント

国によってルールや環境が違い、求められる車も変わるため、その国ごとに合う車を考えます。たとえば暑いアフリカの一部の地域では、意外にもエアコンがない車が求められます。快適さよりも車の安さが優先されるからです。



働く人の声を聞いてみよう!

Q&A



海外営業
ほそ たいに ゆう すけ
細谷 勇介 さん

Q.仕事で意識していることは?

今はケニアを担当しています。現地で相手の考えや気持ちをより深く理解するために、言葉だけでなく、その国の文化についても学ぶようにしています。

Q.やりがいを感じる瞬間は?

現地スタッフから示された課題を解決し、販売がうまくいったときです。また、ケニアの人々はいつも陽気なので、会議に参加するだけでも楽しく感じます。

Q.入社のきっかけは?

学生時代に海外ボランティアに参加し、日本製の製品が多く使われているのを誇りに感じ「日本の技術を海外に提供できる仕事がしたい」と思ったことです。

Q.この仕事の魅力は?

自分が企画に関わった車が、実際に道路を走っている姿を見られることです。特に海外で見かけたときは、日本のものづくりに誇りを感じます。



海外企画
かんばやし こ じろう
上林 虎次郎 さん